

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566) 22-2111  
FAX (0566) 25-2111  
メール kariyar@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 嶋 津 孝 久  
幹事 野 村 紀 代 彦  
会報委員長 横 山 宜 幸

2012 ~ 2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2804回例会プログラム

[当年度=38回目; 当月=4週目]

2013年(平成25年) 5月27日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

## 12:40 7. 会長挨拶並びに会長報告

8. 幹事報告  
9. 副幹事報告  
10. 出席報告  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(6/4) ……

クラブフォーラム(環境保全委員会)

「ハイケホテルを鑑賞しよう」

19:00 ~ 20:00

角文株式会社本社 5階ホール

講師 日本自然保護協会

自然観察指導員 神谷 幸彦 様

(紹介者 鈴木文三郎 会員)

※6月3日(月)の例会変更分です。

(6/10) ……

クラブ協議会

次年度委員会別事業計画の検討

## 2. クラブフォーラム……………〈職業奉仕委員会〉

- 12:55 1. 開会の言葉……………〈委員長〉  
2. 職業表彰……………〈会長〉  
刈谷市都市整備部まちづくり推進課  
土地利用計画係長 櫻井 貴一 様  
刈谷市都市整備部まちづくり推進課  
主任主査 榎木 秀夫 様

## 3. 「被災地の状況報告」

櫻井 貴一 様、榎木 秀夫 様

## 4. 謝辞……………〈会長〉

13:15 5. 閉会の言葉……………〈委員長〉

13:15 14. 新入会員アワー 石川 覚雄 会員

## 15. 謝辞

## 16. 点鐘……………〈会長〉

## 17. 閉会宣言

13:30 18. 散会

## ゲ ス ト

刈谷市都市整備部まちづくり推進課

土地利用計画係長 櫻井 貴一 様

刈谷市都市整備部まちづくり推進課

主任主査 榎木 秀夫 様

## 出 席

会員総数 96名 出席免除 28名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名  
欠席 6名 出席率 93.20%  
前々回(5/13)の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) 5月23日、平成25年度刈谷市国際交流協会役員・幹事会に出席しました。  
2) 5月24日、社会福祉法人刈谷市社会福祉協議会理事会に出席しました。  
3) 5月26日、刈谷音楽協会定期総会には、加藤繁則 社会奉仕委員長に、代理出席をお願いしました。

## 副 幹 事 報 告

- 1) 会員名簿作成のため、校正と写真撮影にご協力下さい。校正原稿を回覧します。本日写真撮影できなかった方は、今週中に鈴喜写真館にて撮影して下さい。火曜日定休ですのでお気をつけ下さい。

## 委員会報告

### ●環境保全委員会 委員長 鈴木文三郎

1) 刈谷市緑化推進協議会から「緑の募金」の依頼が来ております。お一人あたり1,000円のご協力をお願い致します。

## 会長あいさつ

### 式年遷宮の話

嶋津 孝久



大手旅行代理店・JTBが1月に実施した、「2013年に参拝したい寺社」アンケート調査で、1位は「伊勢神宮」、2位は「出雲大社」でした。どちらも、式年遷宮を控えた節目の年で注目されているのでしょう。

また、近年「癒し」や「パワー」が得られるとして、女性を中心にパワースポットと呼ばれる場所が人気になっております。中でも伊勢神宮は日本最大のパワースポットとして、多くの観光客を集めています。

特に今年の「お伊勢さん」は20年に1度の式年遷宮の年です。この式年遷宮は飛鳥時代の天武天皇が定め、持統天皇の690年に第1回が行われたそうです。その後、戦国時代の120年以上の中断や、何回かの延期はあったものの、今回まで1300年以上にわたって行われております。

20年ごとに行われるのは有名ですが、この理由については特に記録はなく不明だそうです。推測される理由として

1. 建物の清浄さを保つため。耐用年数ではなく、宗教的な意味での「清らかさ」を保つ＝穢れを除く。
2. 技術の伝承を行うため。当時の寿命や実働年数を考えると、20年が妥当なサイクルである。
3. 神嘗祭に提供される穀物の保存年限が20年であるため。

遷宮といいますと、外宮・内宮の生殿を建て替え、ご神体を遷す「遷御の儀」が有名ですが、宝殿外幣殿・鳥居など65棟の殿舎や宇治橋から、装束・神宝・調度品など、全てが作り変えられます。また、意外と知られていないのは、外宮・内宮につながる伊勢近辺の神社、併せて125社がまるごと一新される大行事なのです。このため、必要とされる檜は1万本以上、総費用は550億円と試算されているそうです。

また、祭典・行事では2005年の「山口祭」(御杣山の山口に住む神をまつる)に始まって、38回もの神事・儀式があることや、重要な神事はその日時を天皇陛下がお決めになる(ご治定)と言うのも初めて知りました。

(2)

## クラブフォーラム

### 職業表彰



櫻井 貴一 様、柵木 秀夫 様

## 新入会員アワー

石川 覚雄 会員



### 1. はじめに

昨年8月、池田憲司会員のご紹介で入会させて頂きました、豊田自動織機の石川です。日ごろは皆さまに大変御世話になりありがとうございます。

また、この1月の誕生日には、思いがけず「還暦」のお祝いまで頂き感謝しております。本日は、お蔭様で満60歳を迎えましたので、自己紹介を中心に、この60年を振り返ってお話をさせて頂きます。

### 2. 出身・学歴など

私は、昭和28年に、隣の市であります安城市高棚町で農家の次男として生まれました。高棚町は、昭和40年頃までは、何もない、広々とした農村地帯で、いわゆる「日本のデンマーク」と称され、鉄道の駅も近くには無く、陸の孤島と思っていました。

1964年、昭和39年の東京オリンピックの時に記念に撮影した小学校の写真を見ると周りが殆ど田んぼであったことがよく分かります。

高棚町は、現在では、世帯数は1,061軒、人口は4,400人あまりで2割ほどの940の方が65歳以上ということで、ほぼ平均レベルの人口構成のようです。

昭和43年に安城高校に入学しました。

希望は刈谷高校であったのですが、当時の進路指導の先生から、ひょっとしたら入れるかも知れないが、入ってもビリだよ、それでもいいか、と言われ、気楽な安城高校に入った次第で、これが最初の転機ではなかったかと思っています。

入学当時は全く知らなかったのですが、最近、生誕100年ということで、時々記事で見ますが、童話作家の新美南吉が若い頃教壇に立っていた学校であったようです。

大学は、名古屋市立大学に入りました。

ここが第2の転機です。

もともと国公立の大学を目指していたのですが、試しに受けた京都の私立大学に合格してしまい、親を説得し太秦に下宿まで決め、その気になっていました。ところが、名市大にも願書を出していたことから取りあえず受けたところ、こちらも合格してしまいましたので、止む無く京都行きは諦めた次第です。京都にこだわり、京都で学生生活を送っていたら、今とは違うその後の人生だったかとも思います。

第3の転機は、就職活動です。

もともと、公務員か銀行員になろうと考え、就職活動をしていました。

そんな中、あるとき久しぶりに大学にいきましたら友達にばったり会い、彼はすでに豊田自動織機に内定していきまして、受けてみないかと誘われました。いってみると、あれよあれよという間に内定していきまして、まあ家から通えて近いし、歴史のあるものづくりの会社なので、安定感もありいいだろうということで決めた次第です。

大学で友達に会わなければ、どこでどんな暮らしをしていたか分かりません。

今思うと感謝感謝です。

会社では、会社全体が分かり、専門性も身に付くだろうと経理部を希望し、そのとおり配属されました。昭和の終わりごろから、当社も海外に生産工場を作るようになり、現地での経理要員も必要なことから、アメリカのフォークリフト子会社への赴任の打診がありました。

ところが急に話が変わり秘書室勤務となったことが第4の転機であったと思います。

以来、現在まで海外勤務の経験なしで来ています。

秘書室に3年間勤務した後、再び経理部に異動となりました。

最後の転機は、平成15年のエンジン事業部への異動です。

丁度50歳で、定年まであと10年という歳になり、経理部で長く仕事をしてきたこともあり、折角製造会社に入ったので、経理以外の工場での仕事をしてみたい気持ちが強くなり、思い切って異動願いを出したところ、実現したのがこの異動です。

事業のグローバル化が進展し、エンジン事業部でも、ポーランドや中国、インドでのエンジンや部品の生産が進められ、結構海外への出張の機会が多かったと思います。

エンジン事業部に3年半在籍し、その後、本社に戻り広報部、経営企画部を経て監査役となり現在に至っていますが、かけがえの無い経験ができたと思っています。

振り返りますと、これまでいくつかの転機があり、60歳の今に至っているのですが、多くの方に出会い、ご支援やらアドバイスを頂き、まあまあ順調に生きてこれたのではないかと、改めて感謝しなければと思います。

さて、話題を少し変えて、趣味の話をしさせて頂きます。特別なものでなく、ごく当たり前のものなので面白くないかも知れませんが。

ひとつはテニスです。20代の後半からはじめまして、いままで続いています。

もう1つは、ゴルフです。こちらも決してうまい訳ではなく、楽しみとして長くやっています。過去には80台で回ったこともあります。このごろは100を切るのが大変というレベルです。ここ数年は、会社の仲間と有名・リゾートゴルフに出かけるのがもう1つの楽しみになっています。

まだまだ若輩でありますので、今後ともご指導・ご鞭撻を頂きますようお願い致しまして終わりとさせていただきます。ありがとうございました。